

- PAZ内において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約●●人分:バス●台であり、青森県は「災害時等におけるバスによる人員等の輸送に関する協定書」に基づき、青森県バス協会に住民避難用バスを要請。**【P】**
- 青森県バス協会は、同協定書に基づく青森県からの要請を踏まえ、住民避難用バスを調整・確保するとともに、更に余裕を持った台数を確保。**【P】**

＜全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数※	必要車両台数	備考
バスにより避難する住民	●●人	●台	一時集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P36】

※ 数字は現段階で東通村が把握している暫定値 ひがしどおりむら

＜全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		●台	
(B) 確保車両台数		計●台以上	
確保先	青森県バス協会	●台以上	PAZ・UPZ市町村が所在する地域のバス会社が保有するバス車両(貸切)総数182台 <b>【P】</b>

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

# PAZ内におけるバス避難の住民の数【P】

- 青森県及び東通村によるアンケート調査の結果、PAZ内におけるバス避難の住民は約●●人。【P】
- **バスで避難する**住民は、東通村が設置する4箇所ひがしどおりむらの一時集合場所に徒歩等で集まり、青森県が手配したバスにより、避難先である青森市へ避難。【P】



一時集合場所	バス 必要台数
<small>おだのさわ</small> 小田野沢地区 学習等供用センター	●人 ●台
<small>ひがしどおりむら</small> 東通村南地区 基幹集落センター	●人 ●台
いさりび館	●人 ●台 <sup>※2</sup>
<small>しらぬか</small> 白糠地区避難施設	
合計:4箇所	●●人 ●台

- ※1 数字は現段階で東通村が把握している暫定値
- ※2 いさりび館、しらぬか白糠地区避難施設のそれぞれで必要となるバスの台数については、配置職員からの連絡に基づき配車

# PAZ内(北部)から避難先までの主な経路

➤ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



# PAZ内(南部)から避難先までの主な経路

▶ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。

